

STOP! THE YANBA DAM

総括特集号

CONTENTS

- ◆ ムダなハツ場ダム
12年間にわたる闘い……中村、村越
- ◆ 緊急座談会
ハツ場ダム反対運動を総括する
……村越啓雄
- ◆ 抗議集会のお知らせ
- ◆ 鬼怒川の堤防決壊とハツ場ダム
……嶋津暉之
- ◆ 変わり果てたハツ場の地を訪れて
……大野博美
- ◆ 編集後記
……服部かをる

vol. 23



ハツ場ダムをストップさせる千葉の会

代 表：中村春子・村越啓雄
住 所：〒285-0825 千葉県佐倉市江原台2-5-29
TEL/FAX:043-486-1363
E-mail:yanbachiba@gmail.com
ウェブ: <http://yanbachiba.blog102.fc2.com/>
2015年11月28日発行

●会費納入のお願い（一口 1000 円／年）
会費振込先：00120-5-426489

ムダなハツ場ダム 12年間にわたる闘い

●2004年11月、千葉・東京等、関東の6都県でハツ場ダムに関する公金支出差し止めを求め、一斉提訴したハツ場ダム住民訴訟は、地裁・高裁で全て敗訴。そして私たちは昨年10月、下級審での誤りが正されることを期待して、最高裁へ上告していました。しかし、最高裁判所は9月8日、上告を棄却する、上告審を受理しないという、不当極まりない判決を下しました。私たちは司法の役割を放棄したこの決定に対し、すぐに抗議声明を出しました。

●ハツ場ダム問題は何一つ解決されていません。私たちは最高裁に向けて300ページを超える理由書を提出し、高裁判決の誤りを明らかにしてきました。人口減少が続く中、不合理な治水計画や水需要予測の誤りによって、次世代への負の遺産は計り知れません。

現地は地質の悪さで、一部のハツ場ダム関連工事は難航し、代替地や付け替え道路の整備には有害物質が含まれる鉄鋼スラグが使用されています。ハツ場ダムの危険性・不要性が露呈してくるのはこれからです。台風18号による鬼怒川の堤防決壊で溢れた水が家々を次々と襲っていく凄まじい状況を、私たちは目の当たりにしました。鬼怒川上流には、国が建設した4つの大規模ダムがあります。流域住民の生命や財産は、ダムではなく、堤防強化によって守られるのであり、私たちは裁判の中でも繰り返し訴え続けてきました。

11年間にわたり行政と闘ってきましたが、どう考えても合理性はこちらにありました。これからの世の中、水道給水量がうなぎ上りに上昇することがあるのでしょうか。

●住民監査請求から上告まで、共に闘ってきた弁護団、上告人、会員、支援者の皆様、長い間のご協力、本当にありがとうございました。勝訴できなかったことは大変残念で、力及ばなかったことは悔しい思いで一杯ですが、今後については「緊急座談会」のまとの通り、会の運動を継続して今後に対応していくことを、次の総会に提案します。

また、訴訟の集会としては最後になるかもしれませんが、12月13日に「最高裁決定抗議集会」をお知らせ欄のように開催いたします。鬼怒川の水害を、ダム依存の河川行政の誤りを追求します。変革を求めて、抗議集会を新たなスタートの場にできればと思っています。

ハツ場ダムをストップさせる千葉の会 中村春子
村越啓雄